

小中学校の教職員向け研修講演会 HTBアナウンス部長が“伝える”大切さを語る

2024年1月9日（火）

札幌市の小中学校の教頭会研修が1月に市内のホテルで行われ、編成局アナウンス部長林和人部長が講師を務めました。これは教育の発展や職能の向上を目的としたもので、9日(火)の中学校教頭会にはおよそ100人が参加しました。林アナウンサーは「11年半にわたる『イチモニ!』出演から学んだ、伝えるということ」と題して、胆振東部地震で感じた伝えるべき情報の内容とそのタイミングなどについて語りました。また16日(火)の小中学校教頭会では「アナウンサーの世界から見た学校 ～今の学校に思うこと～」と題して、防災減災への取り組みや若手アナウンサーの育成におよそ170人が耳を傾けました。出席者は「異業種の話を知ることができ刺激をもらいました」、「若手アナウンサーの良いところを見つけて伸ばす、部の雰囲気づくりと意思統一など教頭の職能に通じる話が多く参考になった」という声が寄せられました。



いろんな事を
知るのって
楽しいモシ～



なぞなぞモシ～

